

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	山口県	事業実施主体	山口県、下関市	地域再生計画名	豊北の魅力あふれるみなとづくり計画
計画期間	令和元年～令和5年	評価責任者	山口県土木建築部長、下関市長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数	達成数					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	道の駅「北浦街道 豊北」の利用者数の増加	610千人	H29	628千人	R3	455千人	640千人	R5	499千人	△	2	1	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初想定外の大幅な減少となった。現在利用者数は徐々に回復傾向にあるが、最終目標の達成までには至らなかった。
	指標2	豊北地域の新規漁業就業者の確保	1人	H25～H28平均	1人	R1～R3累計	3人	2人	R1～R5累計	4人	○	2	1	漁業関連の支援事業も併せて行ったことで、新規漁業従事者の確保に一定の効果が見られ、大幅に目標を達成することができた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	-												-
	指標2	-												-
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
特別措置を適用して行う事業	港湾整備事業（港湾施設） 物揚場 護岸		1,329m 83m	1,099m 58m	1,140m 83m	設計にあたり、詳細調査を実施した結果、一部の施設において当初想定よりも損傷が激しい箇所が確認されたことから、対策工法を見直す必要が生じたため、当初想定より事業費が増加した。このことにより、計画延長のすべてを整備することはできなかった。整備が未了の施設については、R6年度以降別事業での整備を継続することにより、施設整備は完了させることとする。今回計画施設について、概ね施設整備を完了し、利便性が向上したことにより、新規漁業就業者の確保につながったと考えている。								
	漁港整備事業（漁港施設） 舗装		7979m <sup>2</sup>	6293m <sup>2</sup>	7979m <sup>2</sup>	当初計画面積のすべてを整備した。今回の整備により漁港の就労環境が改善され、新規漁業従事者の確保につながったと考えている。								
その他の事業	やまぐち「働き方改革」推進事業		労働人口の確保を目的として山口県が実施する働き方改革と連動して、市内の労働力確保や移住促進に繋がる各種事業を展開する。			生産性の向上や働きやすい職場環境づくりを目指す「働き方改革」と合わせて、インターンシップへの支援や、人材が不足する建設業への就業支援、若者や女性の雇用の促進に向けた多様な就業ニーズに応えるマッチング支援等に積極的に取り組み、市町と連携しながら新規就業者の確保に努めた。								
	さいこう（最高・再興・再光）地域資源！プロジェクト		雇用力の高い食料品製造業を中心に、市内産業の域内仕入れと域外販売力を強化するとともに、持続的な水産業の振興に必要な事業を実施する。			持続的な水産業の振興の基礎となる「水産資源の安定確保」に取り組むため、需要が高い魚介類の種苗育成を実施するとともに、管内漁協の放流経費の一部を支援したことにより新規漁業就業者の確保に努めた。また、特牛イカブランド協議会と共に、豊北地域に水揚げされる地域ブランドの特牛イカのPR活動を行い、需要（消費）及び販路拡大を図り、地産地消の推進及び付加価値向上対策に取り組む、道の駅利用者の増加に寄与した。								
	北浦さかなまつりin特牛		下関市地方卸売市場特牛市場にて地域ブランドの特牛イカをはじめとする地場水産物の販売や魚のつかみ取り体験コーナー等を催し、地産・地消、魚食普及を目的として開催している。			下関市地方卸売市場特牛市場にて地域ブランドの特牛イカをはじめとする地場水産物の販売や魚のつかみ取り体験コーナー等を催し、地産・地消、魚食普及並びに観光客数の増加を図った。令和2年度及び令和3年度、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、中止となった。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、規模を縮小して実施した。								
	わくわくみなとまつり		毎年5月の連休に、道の駅「北浦街道 豊北」に隣接する和久漁港にて開催される祭りであり、地元で獲れた新鮮で美味しい海の幸を使用したご飯等を販売する。道の駅においても連動して、地元水産物を使用した加工品等を販売し、水産物の消費拡大を図っている。			道の駅「北浦街道 豊北」に隣接する和久漁港にて、地元で獲れた新鮮で美味しい海の幸を使用したご飯等を販売した。道の駅においても連動して、地元水産物を使用した加工品等を販売し、水産物の消費拡大と観光客数の増加を図った。令和2年度から令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、中止となった。								
	新規漁業就業定着支援事業		長期漁業研修の受講者に対し、研修支援金を2年間支給する。			漁業技術が未熟な新規漁業就業希望者に対し、就業に必要な技術、知識等を習得させるため、長期漁業研修を実施した。長期漁業研修受講者に対し、研修支援金を支給し、新規漁業就業者の確保に努めた。								
	新規漁業就業生活・生産基盤整備事業		新規漁業就業者の経営開始時にかかる生産基盤の整備（漁船、漁具等のリース費用等）に対する補助。			経営基盤の脆弱な新規漁業就業者の初期投資を軽減させ、円滑な漁業を支援するため、生産基盤の整備に対し補助を行うことにより新規漁業就業者の確保に努めた。								
	経営自立化支援事業		漁業経営を開始した者に対して、自立化支援金を3年間支給する。			漁業経験が浅く、経営基盤の脆弱な新規漁業就業者に対して、経済的支援を行うことにより、新規漁業就業者の確保に努めた。								
計画外で独自に実施した事業	水産業プロモーション事業		水産物の活用促進、消費拡大や水産都市下関のPR効果			地域ブランドの特牛イカのデジタルパンフレット、動画を作成。道の駅「北浦街道 豊北」でイベントを実施し、動画放映用モニターと動画とパンフレットにリンクしたQRコードを記載したのぼりを設置し、水産物の活用促進、消費拡大を推進するとともに、観光客数の増加を図った。								
④評価方法	山口県土木建築部評価システム検討委員会及び下関市港整備推進交付金事業評価委員会を開催し、達成状況の評価・検討を行った。													
⑤事後評価の公表方法	山口県及び下関市のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生港整備推進交付金を活用し港湾と漁港の一体的な整備を行い、地域産業の基盤強化を図り、漁業関連の支援事業を併せて行ったことにより、新規漁業従事者の確保などの効果を概ね発現してきたと考えている。整備量については、港湾施設において一部未了の施設もあるが、今後別事業にて整備を実施することで対応を継続していくこととしている。また、コロナウイルスによる観光客の減少により、目標が達成できなかった項目もあるが、徐々に数値は戻っており、あくまで一時的なものであると判断できる。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画については、事業が概ね円滑に進んだことにより、新規漁業就業者の確保に一定の効果が見られ、豊北地域の活性化につながったと考えている。今後も豊北地域の魅力向上のため、必要な取組を進めていく。													